

みどりに包まれたまち「西東京」の実現を目指して
西東京市みどりの基本計画の概要
西東京市みどりの基本計画の概要

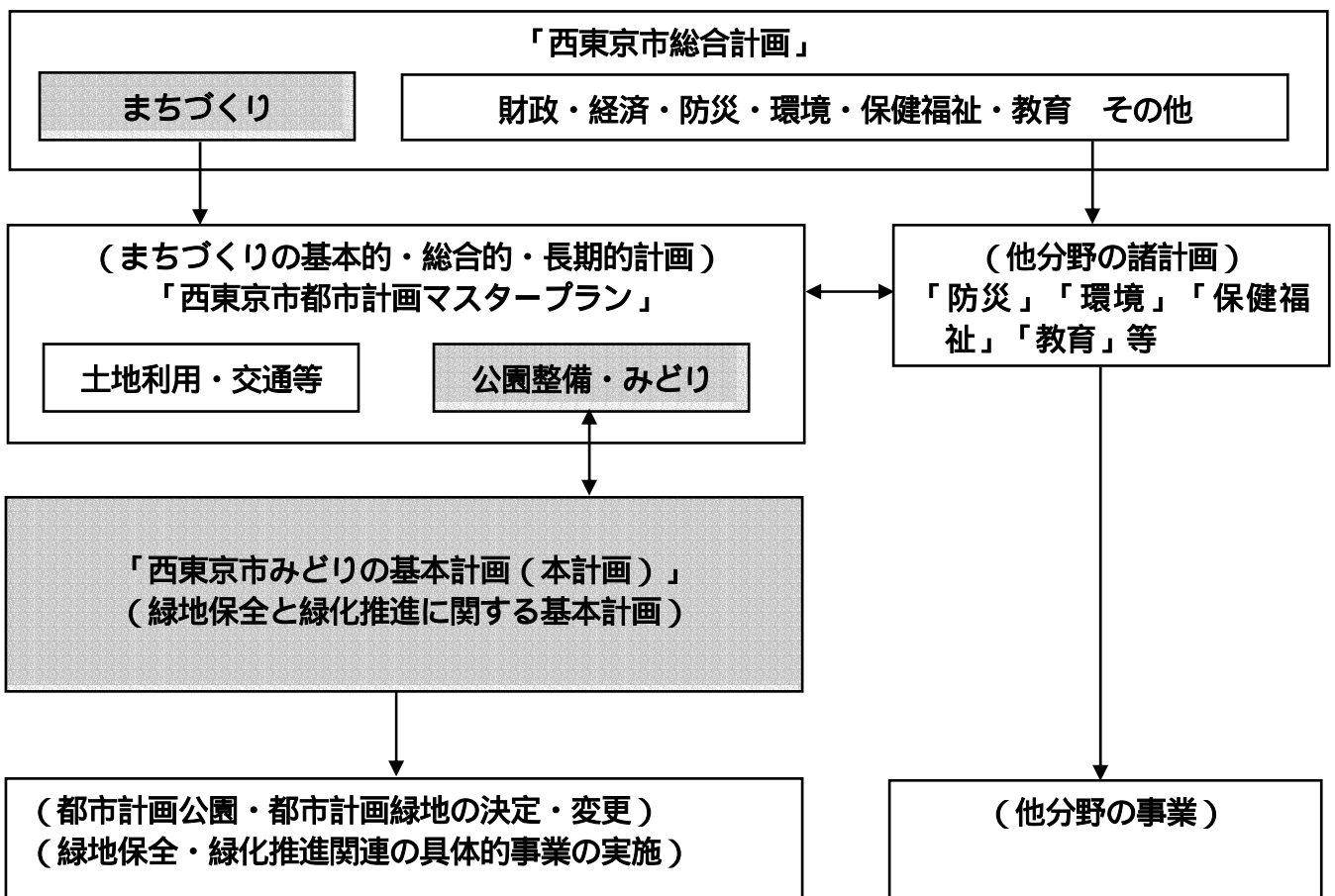


2004年(平成16年)7月

西 東 京 市

みどりの基本計画とは

- ・「みどりの基本計画」とは、市町村単位の「緑地保全」と「緑化推進」に関する総合的・基本的・長期的な計画です。
- ・「西東京市総合計画」や「西東京市都市計画マスタープラン」に示されたまちづくりに関する基本理念を受けて、緑地保全と緑化推進に焦点をあてつつ基本的な考え方と施策の方向性を記述するものです。
- ・計画の目標年次は、おおむね計画策定から10年～20年後の西暦2013年(平成25年)～2023年(平成35年)前後とします。



図．「西東京しみどりの基本計画」の位置づけ

みどりの将来像

みどりの将来像

- ・西東京市の将来の理想像を、旧市の「みどりの基本計画」や、「西東京市総合計画」「西東京市都市計画マスタープラン」などの上位・関連計画を踏まえて、次の通りとします。

みどりに包まれたまち「西東京」

比較的豊富なみどりが残されたまちとして、その保全・再生に努めることで、みどりが散見される西東京市ではなく、みどりがあふれ、みどりに包まれていると実感できるような、西東京市の実現を目指します。

特定の場所に出かけなくとも、日常生活の中でみどりに気軽にふれあうことができるような姿を理想とし、その実現を目指します。

行政と市民が、適切な役割分担を確立して、互いの協力と連携により、みどりのまちづくりを進めます。

具体的には、次のような姿を作り出すことを目標とします。

古くから営まれてきた、西東京市らしい豊かなみどりの空間が大切に残され、充実されている。

新市の顔となる、みどりの拠点や軸が形成されている。

市内のそれぞれの地区に、個性あるみどりの空間が広がっている。

みどりを大切に守り育てる市民が暮らし、行政が力強く支援している。

みどりのまちづくりの目標

- ・「みどりの将来像」を実現するために、「みどりを守る!」「みどりを創る!」「みどりを活用する!」という3つの視点を「みどりのまちづくりの目標」として掲げます。
- ・また、それらの取り組みは、「環境保全」「レクリエーションとふれあい」「防災」「景観形成要素・地域のシンボル」といった、みどりがもつ4つの主要な機能に着目して、いずれかに偏ることなく、総合的な視点で進めていくものとします。

【目標】

みどりを
守る!

みどりを
創る!

みどりを
活用する!

【みどりの機能・種類】

環境保全の
ためのみど
り

レクリエー
ションとふ
れあいのた
めのみどり

防災のため
のみどり

景観形成要
素・地域の
シンボルと
してのみど
り

みどりの将来都市構造

- ・市全体に同じような施策を進めていっても、望ましいまちにはなりません。
- ・市内のそれぞれの区域や道路・河川などが、様々なそして適切な役割を果たすことで有機的で魅力あるまちが形成されていくこととなります。
- ・その観点から、西東京市の「みどりの将来都市構造」を描きます。

【将来都市構造の形成要素】

西東京市のみどりの将来の望ましい構造を、「拠点」「軸」「ネットワーク」「みどりの住宅ブロック」から形成するものとします。

みどりのシンボル拠点

- ・根幹的なみどりの集積地です。
- ・この周辺では、特にまとまったみどりの保全と創出を図り、市のシンボルとなるようなみどり豊かな区域づくりを目指します。

みどりのミニ拠点

- ・既存の中規模公園を、「みどりのミニ拠点」として位置づけ、「みどりのシンボル拠点」に準ずるような、まとまったみどりの保全と創出を図ります。

みどりのシンボル軸

- ・西東京市のシンボル軸となる、新青梅街道・調布保谷線などは、みどりの観点からも、特に積極的に街路や沿道での緑化を進めていきます。
- ・これにより、市のシンボルとなるような道づくりを目指します。

散歩道のネットワーク

- ・「みどりのシンボル軸」に準ずるものとして「散歩道のネットワーク」を定義し、沿道の緑地保全や緑化、道路上のデザインの工夫などにより、みどり豊かで快適な生活道路網の形成を図っていきます。

水辺のネットワーク

- ・石神井川沿いは「水辺のネットワーク」として位置づけ、市民が水辺と楽しめるような河川の整備や周辺の緑化などを進めていきます。

みどりの住宅ブロック

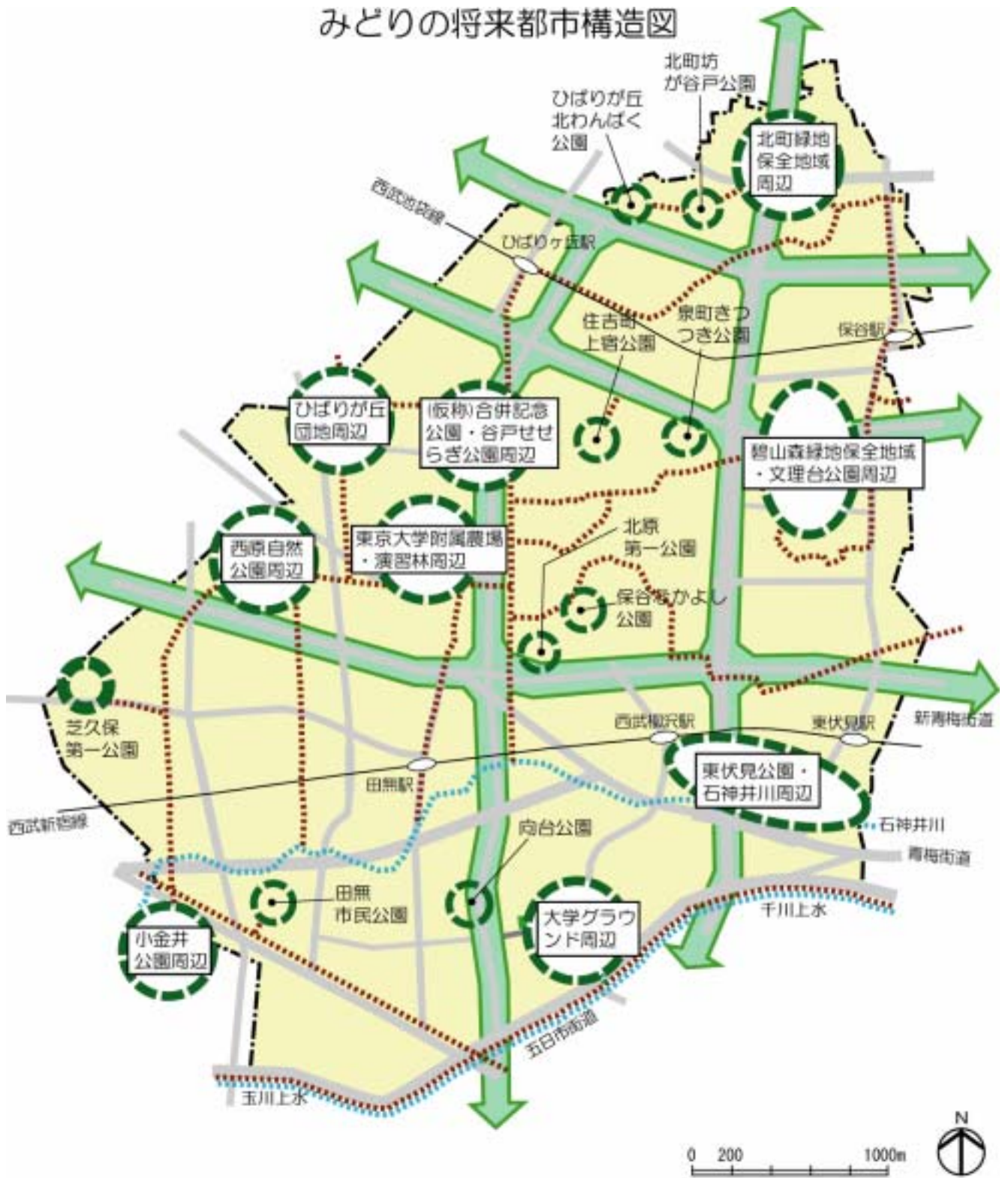
- ・幹線道路や鉄道で囲まれた区域を「みどりの住宅ブロック」として、緑化まちづくりの単位と考えます。
- ・おのおので、個性をもった緑化まちづくりを検討し進めていくものとします。

数値目標

緑被率（市全体の面積に対するみどりに覆われた部分の割合）は、現在のおおむね30%を維持します！

- ・公園の整備や緑化を進めても、相続や宅地開発などにより、市内のみどりが減少していくことには、ある程度やむを得ない面があります。
- ・しかし、それらを相殺した時、現在のおおむね30%の緑被率を維持していくことを目標とします。

みどりの将来都市構造図



みどりのまちづくりの方針

・西東京市における、みどりのまちづくり方針の体系を次のように考え、計画的な「みどりのまちづくり」を進めていきます。

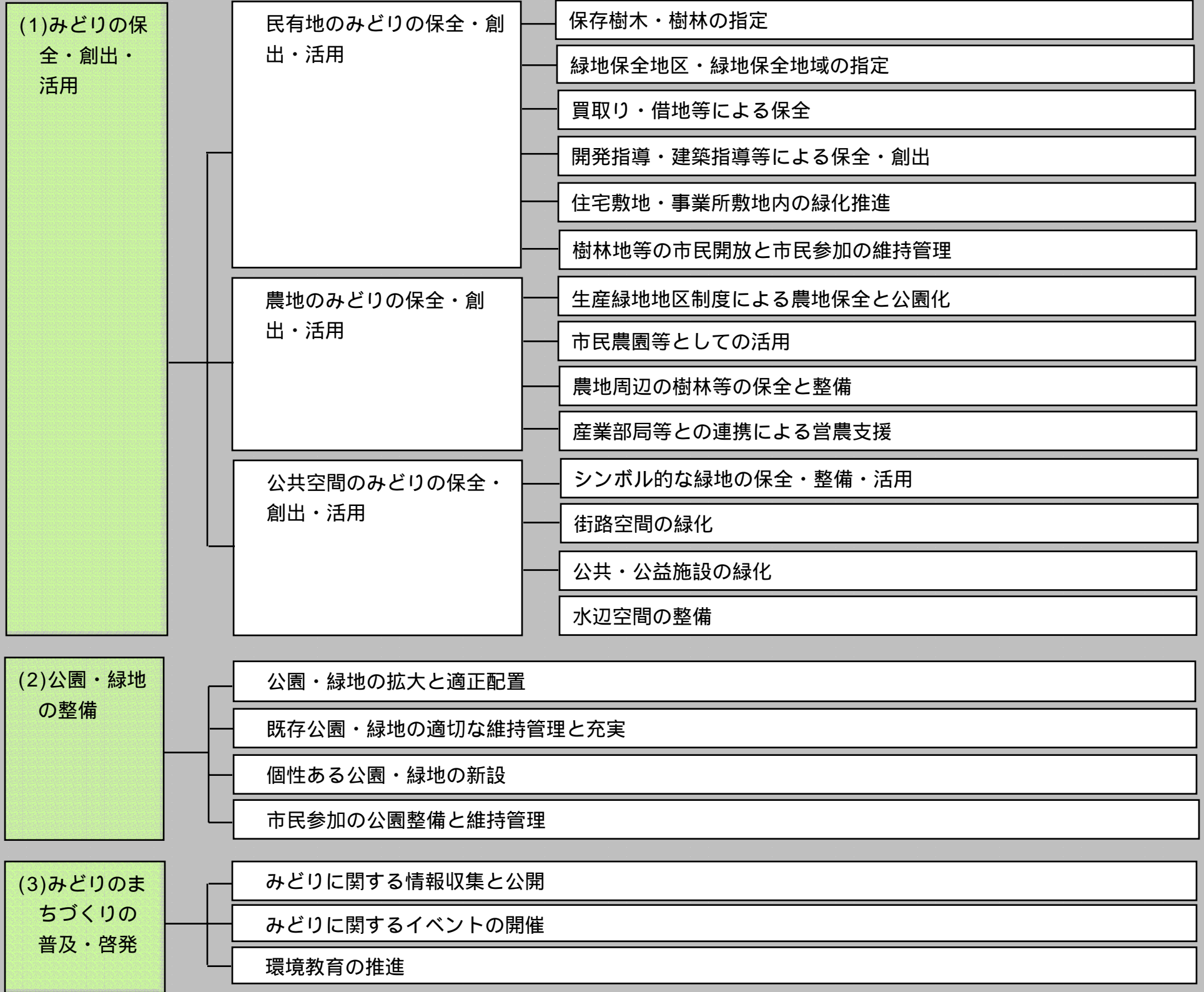
1. みどりのまちづくりの基本的考え方

- みどりの絶対量の確保
- みどりの適正な配置
- 個性的なみどりの創出と活用
- 市民参加によるみどりのまちづくりの推進

2. みどりの機能からみたまちづくり

- 環境保全の観点からの緑地の適正配置・整備
- レクリエーション・ふれあいの場づくりの観点からの緑地の適正配置・整備
- 防災の観点からの緑地の適正配置・整備
- 景観形成の観点からの緑地の適正配置・整備

3. みどりのまちづくりの施策の方向



みどりの役割と効果

みどりは、快適でうるおいのあるまちづくりのうえで、欠かせない存在になっています。次に示すように、様々な役割を果たしている「みどり」を、ともに大切に守り、育てていきましょう。

都市の環境を守るみどり

みどりは、酸素をつくり大気の浄化を行います。日照や風などの気象を調整する働きももっています。

都市のヒートアイランド（温度が上昇し熱帯夜が増えるような現象）や地球の温暖化といった環境問題を解決するうえでも重要です。



レクリエーションの場としてのみどり

みどりは、散歩や語り合いなど、人々の様々な活動の場となります。

スポーツや野外活動の場としての役割も果たします。

人々の「レクリエーション」の場を提供してくれているといえます。



動物や鳥、虫たちの住みかとなるみどり

みどりの中には、様々な動物たちが暮らしています。

公園の木々や草むら、住宅地内の樹林地などで、鳥たちのさえずりに耳を傾け、虫たちと触れ合えることができます。



心にやすらぎやうるおいを与えるみどり

木々や花壇に植えられた草花など、目に映るみどりは、人々の生活にやすらぎとうるおいを与えてくれます。

疲労の回復やストレスの解消など、精神的な「いやし」の空間ともなります。



都市防災に役立つみどり

公園や緑地などのオープンスペースは、災害時には避難場所として機能します。

屋敷林や街路樹などの、まとまりのあるみどりは、延焼の防止に効果を発揮します。

また、木々は防風や、騒音の防止・光の拡散といった機能ももっており、都市の公害を減らし、市民の生活を守ってくれています。



魅力的な景観を創り出すみどり

みどりは、道路や住宅地の景観に彩りを与えてくれます。

季節感を表したり、町並みのシンボルとなる場合もあります。

西東京市の歴史・文化を後世に伝えていくためにも、大切な資源であるといえます。



西東京市 都市整備部 公園緑地課

西東京市南町五丁目6番13号 電話：0424-64-1311（代表）